

施策：	16	開かれた市政の推進	財務コード	--
基本事業：	03	広聴の推進	担当部	企画政策部
基本事業の成果指標	広聴制度での提案件数（計画期間内累計） 広聴の実施回数（累計）		担当課	秘書広報課
			担当係	広報広聴担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	～		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画			
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）							
筑紫野市内外の住民及び市内に通勤・通学している人			電子メールや文書により、市政についての建設的な提案や意見を求め、担当課と協議しながら回答を行っています。							
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）										
市民等が自由に「市政への提案」を行い、市民参画の市政が推進されています。										
4. 成果（簡易評価は未記入）										
成果指標名称		単位	01年度実績	02年度実績	03年度当初	04年度要求	05年度計画	06年度計画	目標	
市の広聴の機会や場の満足度（アンケート）		%	81.7	80.6	89	0			89	
提案件数		件	7	10	18	0			59	
5. コスト										
事業費		計	千円	0	29					
		国	千円	0	0					
		県	千円	0	0					
		地方債	千円	0	0					
		その他	千円	0	0					
		一般	千円	0	29					
正職員人工数		人工		0.7	0.7					
正職員人件費		千円		5,620	5,545					
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	0	5,649	5,545					
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）										
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）		<状況>広聴機会や場の満足度は横ばい、提案件数は向上しています。 <原因>移動市長室は、月1回程度実施しており、参加者からの要望、意見についても適切に対応しています。広報紙にも大きく掲載を行い、ホームページでも議事録や内容を閲覧できるようにしています。 「市政への提案」では、広報紙などにおいて定期的に制度の周知を行うとともに、提出された提案を広報紙・ホームページに掲載し、周知と意識の向上を図っています。送付される件数は多く増加傾向ですが、建設的な提案は横ばいとなっています。								
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）										
対象動向	維持	類似事業	なし	「市政への提案」で提案された内容および回答について、広報紙・ホームページに掲載しています。「市政への提案」制度の周知に限らず、提案することにより市政に参画しようという意識の向上を図っています。						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし							
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし							
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	なし							
成果向上余地	中程度									
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）						改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）										
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）										
平成7年度から始めた「市長へのたより」事業で提出される内容が各課等の業務内容や苦情など、趣旨に沿わないものが増加傾向にあったため、本来の目的である市政に対する提案であることを明確化し、平成23年度から「市政への提案」制度として実施しています。						備考・特記事項 or 進行管理欄				
						令和4年度から広報広聴事務事業に編入する。				